



No. 13

2022年4月22日

サラダクラブ産地表彰式を開催

グロワー・オブ・サラダクラブ

## 第6回「Grower of Salad Club 2022」

全国約400の契約産地の中から8産地を「最優秀賞」として表彰  
 「特別賞」には循環型農業を構築した産地も

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：金子俊浩、本社：東京都調布市）は、4月21日（木）に、契約産地を表彰する「Grower of Salad Club 2022（グロワー・オブ・サラダクラブ 2022）」を初のオンラインにて開催しました。

「Grower of Salad Club」は、日頃お世話になっている生産者のかたへ、感謝の想いを伝えることを目的に2017年から毎年実施しています。第6回目となる今回は、全国約400の契約産地の中から8産地を「最優秀賞」、17産地を「優秀賞」、4産地を「特別賞」として表彰しました。

当社では、主要原料（キャベツ、レタス、ロメインレタス、サニーレタス、グリーンリーフレタス）を工場で使用する際、工場や人によって評価にブレがないよう、野菜毎に明確な評価基準※を設けて品位の評価をしています。

※ 例えば、レタスでは「サイズ」「外葉」「巻き」「褐変・蕩け」

「内部異常」「病虫害」の6項目で評価。

「Grower of Salad Club 2022」では、主要原料を対象品目とし、2021年度（2020年12月～2021年11月）の期間中、評価点が最も高かった8産地を「最優秀賞」、次に得点が高かった17産地を「優秀賞」に選定しました。「特別賞」には循環型農業の構築に貢献いただいた産地や相場高騰時に貢献いただいた産地を選定しました。この受賞結果は、当社の商品に使用されている野菜の産地、生産者がわかる「サラダクラブ産地検索」アプリでも見ることができます。

サラダクラブでは、生産者との顔が見える関係を基本に、「契約取引」で原料を調達しています。「契約取引」は、一定価格での安定した原料調達が実現するという当社側のメリットのほか、生産者にとっては、安定的な収入を基盤とした戦略的投資が実現できるというメリットがあります。現在、全国に約400の契約産地があり、常に安定した調達ができるよう取り組んでいます。

今後も、商品の品質向上に努めるとともに、産地との密なコミュニケーションを活かした独自の商品開発など、お客さまにとって魅力ある商品づくりに努めてまいります。



最優秀賞に選ばれた8産地の方々



サラダクラブ 金子代表取締役社長

<最優秀賞受賞産地>

	産地名	対象品目	所在地
1	株式会社黄金崎農場	キャベツ・レタス類	青森県
2	JA 川上そ菜販売	レタス類	長野県
3	株式会社鈴生	レタス類	静岡県
4	とぴあ浜松農業協同組合	キャベツ・レタス類	静岡県
5	豊橋農協てつコン倶楽部	キャベツ	愛知県
6	青空株式会社	レタス類	岡山県
7	有限会社松山青果	レタス類	長崎県
8	株式会社指宿やさいの王国	キャベツ・レタス類	鹿児島県

<優秀賞受賞産地>

	産地名	対象品目	所在地
1	JA 幕別町 そ菜事業部会 レタス委員会	レタス類	北海道
2	あおいのやさい畑	レタス類	青森県
3	有限会社孀恋オーアンドエフ	キャベツ	岩手県
4	農事組合法人四季菜くらぶ	レタス類	茨城県
5	静地区出荷組合	レタス類	茨城県
6	有限会社イズミ農園	レタス類	山梨県
7	有限会社ハヤシ	レタス類	長野県
8	TOPHAT	レタス類	静岡県
9	株式会社青空農園	レタス類	静岡県
10	有限会社阪急泉南グリーンファーム	キャベツ	滋賀県
11	JA 庄原 甲奴郡加工用野菜部会	キャベツ	広島県
12	一笑農芸	レタス類	広島県
13	JA 山口県下関統括本部	キャベツ	山口県
14	株式会社カサイ	レタス類	徳島県
15	大刀洗出荷組合	レタス類	福岡県
16	株式会社フレッシュダイレクト	キャベツ	熊本県
17	有限会社北部農園	レタス類	熊本県

<特別賞受賞産地>

	産地名	選定理由	所在地
1	しかりべつ高原野菜出荷組合	夏場のキャベツの相場高騰時の貢献。 加工適正の高い原料の安定供給。	北海道
2	株式会社ビオテール	「旬を味わうサラダ 春のキャベツミックス」の原料「春のキャベツ」の新規立ち上げ・安定供給。	東京都
3	有限会社アマリファーム	夏場のレタス類の相場高騰時の貢献。 顔が見える関係づくりの強化。 循環型農業の構築。	長野県
4	株式会社新宮青果	長年に渡り、一次加工原料の対応と安定供給。「旬を味わうサラダ 春のキャベツミックス」の原料「春のキャベツ」の新規立ち上げ・安定供給。	長崎県

## ■「サラダクラブ産地検索」アプリ概要

サラダクラブの商品に使用されている野菜の産地、生産者がわかるアプリです。食の「安全・安心」への関心が一層高まる中、産地情報を開示することで、より安心してパッケージサラダを利用していただきたいという思いから、2016年3月よりパッケージサラダ（カット野菜）業界で初となるスマートフォン用アプリとして提供しています。

### <「サラダクラブ産地検索」アプリ概要>

対応端末 : iPhone (iOS8.1以降) /Android (Android4.0以降)  
価格 : 無料  
ダウンロード : [http://saladclub.jp/special/sanchi\\_appli/](http://saladclub.jp/special/sanchi_appli/)  
App Store・Google Play から「サラダクラブ産地検索」  
で検索または、右記2次元コードからアクセス



2次元コード

## ■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により1999年に設立しました。利便性と価格が一定という経済性が評価され需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア(金額)\*を占め、販売店舗数は16,838店(2021年11月現在)となっています。

\* マクロミルQPR(サラダメーカー別 2020年12月-2021年11月)

## ■サステナビリティへの取り組み

当社では、産地からご家庭までのフードロスや廃棄物を低減し、サステナビリティへの取り組みを推進しています。産地との安定的な取引や増量企画を通じた、持続的な生産体制の維持や産地廃棄物の削減。工場内で発生した野菜の未利用部を堆肥の材料にし、それをもとに作られた堆肥を使用して野菜の栽培を行う循環型農業の実現。パッケージサラダの鮮度保持延長の実現により、ご家庭・販売店での消費期限切れに伴う廃棄物の低減などの取り組みを行っています\*。

\* 詳細はサステナビリティページ (<https://www.saladclub.jp/company/sustainability/>) をご参照ください。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 広報・広告宣伝部 吉田・小宮・鳥塚・伊豆野

TEL. 03-5384-7690 (直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町 2-5-7

<https://www.saladclub.jp> E-mail. [info@saladclub.jp](mailto:info@saladclub.jp)

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-662-831